

3つのポリシー ガイドラインによる改定

鶴見大学短期大学部専攻科

専攻科	全学ポリシー	保育専攻								
ディプロマ・ポリシー	<p>【本学はどのような人材を育成し、学位を授与するのか。】</p> <p>本学は、仏教、特に禅の精神に基づく円満な人格と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力、即ち優しさと力を併せ持つ人材を育成します。</p> <p>それは、世界の中の自己を正しく認識し、感謝と慈愛の心を持って、社会の発展と福祉の増進に貢献する人です。</p> <p>力なき優しさは非力ですが、優しさや慈しみの心が無ければ、力の暴走を招きます。禅の実践をともなう修養により、自己を制御することができるよう目指します。専門的な学問や研究も人間としての成長も自己の制御なくして果たすことができません。しかも自己の制御はその人自身の人間関係を円満にするにとどまらず、その属する世界全体を救う可能性を持つものです。</p> <p>ここに本学が特に禅の教えを建学の精神とする、きわめて本質的かつ重層的な観点があります。</p> <p>そのためにも、本学では、以下の素養と能力を身につけ、卒業・修了要件を満たした者に対して学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ものごとを多面的に捉え、深い洞察により世界と自分の関係を正しく認識することができる。(DP1) 2. 慈しみの心を起こし、他者に寄り添い思いやることができる。(DP2) 3. 主体性を持って、諦めずに挑戦を続けることができる。(DP3) 4. 専門的な知識・技能を高め、実践に生かすことができる。(DP4) 	<p>短期大学部専攻科保育専攻では、本学の建学の精神である「大覚円成 報恩行持」(感謝のこころ育んで いのち輝く人となる)に基づく人間性豊かな専門的指導力と研究心を持つ保育者の育成をします。</p> <p>本学では下記の要件を満たした場合において、課程を修了いたします。</p> <table border="1" data-bbox="1721 630 2819 997"> <thead> <tr> <th>保育専攻 DP</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DP1</td> <td>保育に関する基礎的学修を基に、更に社会の変動にも十分な視野を持って保育の意義を認識できる。</td> </tr> <tr> <td>DP2</td> <td>保育に関する基礎的知識の基に、人間性豊かな子どもへの保育実践と保護者支援への専門性に基づく働きかけができる。</td> </tr> <tr> <td>DP3</td> <td>保育の専門的実践者として常に研究心を持ち、自己研鑽の姿勢を持ち続けることができる。</td> </tr> </tbody> </table>	保育専攻 DP	内容	DP1	保育に関する基礎的学修を基に、更に社会の変動にも十分な視野を持って保育の意義を認識できる。	DP2	保育に関する基礎的知識の基に、人間性豊かな子どもへの保育実践と保護者支援への専門性に基づく働きかけができる。	DP3	保育の専門的実践者として常に研究心を持ち、自己研鑽の姿勢を持ち続けることができる。
保育専攻 DP	内容									
DP1	保育に関する基礎的学修を基に、更に社会の変動にも十分な視野を持って保育の意義を認識できる。									
DP2	保育に関する基礎的知識の基に、人間性豊かな子どもへの保育実践と保護者支援への専門性に基づく働きかけができる。									
DP3	保育の専門的実践者として常に研究心を持ち、自己研鑽の姿勢を持ち続けることができる。									
カリキュラム・ポリシー	<p>【目指すべき人材像を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施するのか。】</p> <p>本学では、ディプロマ・ポリシーに定める素養と能力を身につけた人材を育成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の教育課程は、自己を知り感謝と慈愛の心を育み、自らの使命を明確にするための「教養教育」と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力の修得を目指す「専門教育」を体系的に配置します。 2. このうち「教養教育」は、以下の3つの観点から構成されます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生涯にわたって自らを支える基盤となる、幅広い教養の修得を目指した「基礎的教養教育」。 (2) 己を知り慈愛の心を育む円満な人格形成を目指した「禅的情操教育」。 (3) 自らの特性を生かし社会に奉仕するための使命を明確にすることを旨とした「キャリア教育」。 3. それぞれの学部・学科の特性や修業年限に応じて、「教養教育」と「専門教育」を最適に配分します。なお、「教養教育」は初年次教育を中心にディプロマ・ポリシー達成の基盤となり、その学修成果が発揮されることで、「専門教育」の効果は最大限に生かされると言えます。 	<p>短期大学部専攻科保育専攻では、ディプロマポリシーに定める素養と能力を身につけた人間性豊かな専門的指導力を持つ人材を育成するために、次の方針に基づき、教育課程を編成しています。</p> <p>領域及び保育内容の指導法・教育の基礎的理解に関する科目とこれらの科目を基本とした実習、更に学習者自らの選択による特別研究をとおして主体的に学び、保育を探究する人材を育成するために教育課程を編成し、実施しています。</p> <table border="1" data-bbox="1721 1438 2819 1890"> <thead> <tr> <th></th> <th>目的と内容、主な科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 専門教育</td> <td>専門性を深めるために、教育学特論、保育学特論など教育の基礎的理解に関する科目と研究方法論、専攻科特別研究などその他の科目を必修科目として設置する。また保育内容特論、保育指導法研究、保育内容研究など、領域及び保育内容の指導法に関する科目、現代保育論、特別支援保育特論などの教育の基礎的理解に関する科目更に仏教保育特論、児童文学などの科目を選択科目として設置する。</td> </tr> <tr> <td>2 技術指導 演習等</td> <td>保育演習、専攻科実習により専門科目などとおして得た専門的知識をさまざまな保育の場面において実践し、保育技術の向上を図るために設置する。</td> </tr> </tbody> </table>		目的と内容、主な科目名等	1 専門教育	専門性を深めるために、教育学特論、保育学特論など教育の基礎的理解に関する科目と研究方法論、専攻科特別研究などその他の科目を必修科目として設置する。また保育内容特論、保育指導法研究、保育内容研究など、領域及び保育内容の指導法に関する科目、現代保育論、特別支援保育特論などの教育の基礎的理解に関する科目更に仏教保育特論、児童文学などの科目を選択科目として設置する。	2 技術指導 演習等	保育演習、専攻科実習により専門科目などとおして得た専門的知識をさまざまな保育の場面において実践し、保育技術の向上を図るために設置する。		
	目的と内容、主な科目名等									
1 専門教育	専門性を深めるために、教育学特論、保育学特論など教育の基礎的理解に関する科目と研究方法論、専攻科特別研究などその他の科目を必修科目として設置する。また保育内容特論、保育指導法研究、保育内容研究など、領域及び保育内容の指導法に関する科目、現代保育論、特別支援保育特論などの教育の基礎的理解に関する科目更に仏教保育特論、児童文学などの科目を選択科目として設置する。									
2 技術指導 演習等	保育演習、専攻科実習により専門科目などとおして得た専門的知識をさまざまな保育の場面において実践し、保育技術の向上を図るために設置する。									

専攻科	全学ポリシー	保育専攻								
アドミッション・ポリシー	<p>【どのような学生に入学してもらいたいのか。】</p> <p>目標に向かって今の努力を惜しまない、以下のような人を歓迎します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生まれてきたことに感謝し、自己を探究する意欲がある人。(DP1、DP2) 2. 広い視野を持ち、異なる文化・社会にも関心がある人。(DP1) 3. 自ら積極的に学び、成長する意欲がある人。(DP3) 4. 各学部・学科の専門分野への強い関心がある人。(DP4) 5. 入学後の学修に必要な基礎学力がある人。 	<p>短期大学部専攻科保育専攻では、短期大学での学業を基礎に子どもの健全な発育、発達と幸福に貢献し、人間性豊かな有能な指導力を備えた専門的実践者を目指している人を歓迎します。</p> <table border="1" data-bbox="1715 359 2813 636"> <thead> <tr> <th data-bbox="1715 359 1878 453">保育専攻 AP</th> <th data-bbox="1878 359 2813 453">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1715 453 1878 543">AP1</td> <td data-bbox="1878 453 2813 543">社会における乳幼児の課題に深い関心を持ち、保育の専門職となる意欲のある人。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1715 543 1878 590">AP2</td> <td data-bbox="1878 543 2813 590">保育実践について、考察・研究を深めようとする人。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1715 590 1878 636">AP3</td> <td data-bbox="1878 590 2813 636">豊かな人間性を培い、自己を高め続けようとする人。</td> </tr> </tbody> </table>	保育専攻 AP	内容	AP1	社会における乳幼児の課題に深い関心を持ち、保育の専門職となる意欲のある人。	AP2	保育実践について、考察・研究を深めようとする人。	AP3	豊かな人間性を培い、自己を高め続けようとする人。
保育専攻 AP	内容									
AP1	社会における乳幼児の課題に深い関心を持ち、保育の専門職となる意欲のある人。									
AP2	保育実践について、考察・研究を深めようとする人。									
AP3	豊かな人間性を培い、自己を高め続けようとする人。									